

「シンプル+上質=洗練」をコンセプトに
豪華さの先にある豊かさ、個々にとっての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案する

レフレシール キョウコフジタ

フレンチスタイルの先駆者・藤田京子がパリで師事したフランス・フローラル界の巨匠
ジョルジュ・フランソワがパリから教える動画フラワーレッスンの販売を開始
～ パリの三つ星レストラン『ランブロワジー』で撮影した、ムッシュ フランソワが得意とする果物を使った
アレンジメントをクリスマステイストに仕上げる動画を見ながら、おうち時間でレッスン可能 ～



【左】動画レッスンのアレンジメント例とジョルジュ・フランソワ 【右】ジョルジュ・フランソワ ※花はイメージです。実際のレッスンのサンプルではありません

【2020 年 11 月】デコラトリス・藤田京子(株式会社キョウコフジタ 代表取締役 栗田京子)は、アトリエブティック réfléchir KYOKO FUJITA (レフレシール キョウコフジタ、以下レフレシール) より、藤田がパリでの花修業時代に師事したフランス・フローラル界の巨匠：ジョルジュ・フランソワ (Georges François) がアレンジメント作りを教える動画フラワーレッスン「クール・ド・フルール・ア・ラ・メゾン アベック・ムッシュ・フランソワ (Cours de Fleurs a la maison avec Monsieur François)」を2020 年 11 月 16 日 (金) より受付販売いたします。

今回受付販売を開始する同動画レッスンでは、ムッシュ フランソワが得意とする果物を使ったアレンジメントを製作します。パリでムッシュとの対面レッスンを受ける方の多くが受講を希望する内容を、動画で、ムッシュ フランソワの手法を何度でも確認しながら、ご自身のペースに合わせてゆっくりとご自宅でレッスンしていただけます。また、今回は特別に、ムッシュが今でも毎週花を活けているパリの三つ星レストラン「ランブロワジー」で、クリスマスシーズンに向けて「りんごを使ったクリスマスアレンジメント (Composition de Noël avec des Pommes)」を作るレッスンシーンを撮影しているのも見どころです。

「クール・ド・フルール・ア・ラ・メゾン アベック・ムッシュ・フランソワ」は、ムッシュ フランソワと藤田京子の長きにわたる信頼関係に基づいて実現しました。花の世界において「パリスタイル」を確立し、多くのブランドやパリコレクションなどのフラワーデコレーションを手掛けてきたムッシュ フランソワの元には世界各地からフローリスト達が修行に訪れますが、かつて藤田もその一人であり、ムッシュの店でスタジエールとして研修した最初の日本人でした。

今も対面レッスンはキャンセル待ちが続出する程絶大な人気を誇るフローリストであるムッシュ フランソワですが、レフレシール・藤田京子とコラボレーションして提供するこの動画フラワーレッスンは、ムッシュにとって初めての試みです。

■ 動画フラワーレッスン「クール・ド・フルール・ア・ラ・メゾン アベック・ムッシュ・フランソワ」概要

パリで撮影したジョルジュ・フランソワによるレッスン動画と、レッスン用に日本で選んだ旬の花材をお届けし、お好きな時間にお好きな場所で、パリスタイルの真髄を伝えるフラワーデコレーションを学んでいただける動画フラワーレッスンです。パリのエスプリを感じる花々を仕上げるムッシュ フランソワの手法を、何度でも動画で確認しながらご自身のペースに合わせてレッスンすることができ、おうち時間でパリへの花留学が叶います。

■ 内容：

フランス・フローラル界の巨匠：ジョルジュ・フランソワによるパリで撮影したレッスン動画*と、ムッシュ フランソワによるデザインを踏まえて日本で選んだ旬の花材を お届けし、お好きな時間にお好きな場所で、パリスタイルの真髄を伝えるフラワーデコレーションを レッスンできます。ムッシュ フランソワのレッスンに日本語の解説 テロップをつけた動画を見ながら、届いた花材をご自身で仕上げるスタイルです。



また、12月19日（土）および20日（日）の期間、ご希望の方には藤田京子が質問に回答させていただきます。

*レッスン動画は、受講者の方々のみにアクセス先をお知らせし、限定公開される YouTube にて期間限定で視聴できます

■ 今回レッスン作品テーマ：

りんごを使ったクリスマスアレンジメント（Composition de Noël avec des Pommes）

■ 今回限定特典：

初回特典として、パリの空気感、ムッシュ フランソワの世界観を感じていただける、「ランブロウジー」で撮影された『ジョルジュ・フランソワ デザインブーケ』“Novembre”（11月よりレフレシールで販売）の制作映像を特別にご覧いただけます

ジョルジュ・フランソワ デザインブーケ

ジョルジュ・フランソワがデザインし、藤田京子がフランソワの意向を汲んで細やかに仕上げたパリ感溢れる季節のブーケを月ごとに提案し、受注販売いたします。このフランソワデザインのブーケの販売は、フランソワ本人以外では、レフレシールの藤田京子のみに認められています。

- 価格： 18,000 円（税別）
- 販売期間： 2020 年 11 月～ 毎月 1 デザイン
- 受注受付： アトリエ レフレシール（広尾）店頭および電話、FAX、メール、オンラインショップにて受付
- 発送： 受注日より最短 2 営業日（週末・休日は除く）で発送可能です。ご希望日にあわせてお届けいたします
※初回発送は 11 月 2 日（月）より

■ レッスン料金：

33,000 円（税別）

- 上記料金はレッスン動画、花材・材料費を含みます
- 花材一式の送料は着払いにてレッスン受講者さまのご負担となります

■ スケジュール：

2020 年 12 月 18 日（金）花材を東京より発送

- 本州は発送翌日着。地域により到着日程が異なる場合があります

■ 藤田京子 対応日：

2020 年 12 月 19 日（土）および 20 日（日）の期間、ご質問などございましたら対応させていただきます。連絡先等詳細につきましては、受講者の皆様にお伝えいたします

■ レッスン申し込み販売受付：

2020 年 11 月 16 日（金）～ 12 月 3 日（木）まで【定員に達し次第受付を終了】

- ① 専用メールアカウントにて：gf.alamaison.tokyo@gmail.com
 - ② アトリエ レフレシール店頭および FAX、メール、レフレシール オンラインショップにて：
- ◆アトリエ レフレシール

住所：東京都港区南麻布 5-2-37 ルランビル 1 階

FAX：03-3442-0087

メール：info@kyokofujita.com

◆レフレシール オンラインショップ <http://reflechir-shop.com/>

■ レッスン動画サンプル：

<https://www.youtube.com/watch?v=LYQX3DPbzJM&feature=youtu.be>

【12月3日（木）まで公開】

■ お問い合わせ先：

アトリエ レフレシール Tel: 03-3442-8787 または gf.alamaison.tokyo@gmail.com

● 花材はレフレシール・藤田京子が大田市場で揃えた新鮮で豊富な花材を丁寧に梱包してお送りいたします

● ジョルジュ・フランソワがレッスンで使用している花材を揃えますが、一部、パリと大田市場の仕入れの違いで異なるものに変更になる場合もございますのでご了承ください

● 水揚げ処理済みの花々をお送りいたしますので、すぐにフラワーデコレーションを製作することができます。初めての方でもこの機会にぜひチャレンジしてみてください

■ パリスタイルを確立したフランス・フローラル界の巨匠：ジョルジュ・フランソワ | Georges François

日本のフラワーデコレーション界におけるフレンチスタイルの先駆者である藤田京子が花修業を志して 1988 年にパリに渡り、偶然の出会いに導かれて師事することになった人物が、当時既にパリの人気フロリストとして活躍していたジョルジュ・フランソワでした。獅子座のパリ生まれで生粋のパリジャンであるフランソワはユニークな経歴の持ち主です。料理人として働いたり、八百屋で働いた後にフランス軍へ入隊。除隊後、当時パリで最高の花屋だった「Jardin d'Alice」に勤める機会を得たことで花の

世界へ入りました。その後独立し、オデオン広場の車寄せで花を売り始め、3〜4年後にビュシー通りに「La grange à Buci」を開店。18年後、グルネル通りに「Lilianne François pour fleur à fleur」を、続いてユニヴェルシテ通りに「un fleuriste」をオープン。その後、2008年に「Georges François Fleurs」を開業し、現在に至ります。

イヴ・サン＝ローラン、高田賢三、エマニュエル・ウングロなどの名だたるデザイナーや多くのアーティストなどの顧客を持ち、パリコレクションやファッションイベントなどの装花から、ISSEI MIYAKE、エルメス、サンローランなどラグジュアリーブランドのブティックや、パリ・オペラ座、ルーブル美術館、オルセー美術館やガストロノミーレストランなどの定期装花まで、アートやカルチャーシーンにおいてフランスを代表する面々を花を通してサポートしてきた実績は、フランソワがまさにフランス・フローラル界の巨匠であることを示しています。

78歳になった今でも毎日市場に通い、「本当はヴァカンスにも行きたくない」と言って毎日大好きな花に触れながら店で過ごす稀有なフローリストであるフランソワは、3つ星レストラン「ランブロワジー」でも今も毎週花を活け続けています。

■ 藤田京子とジョルジュ・フランソワの出会い

1989年6月、藤田京子がパリ郊外で開かれたフラワースクールに参加した際、ジョルジュ・フランソワの義姉であるフランシーヌ・フランソワと偶然出会ったことが二人の出会いを生みました。花の勉強をするためにパリに渡り、フランス語学校で学びながら修行先を探していた藤田は、フランシーヌの義理の弟がパリで活躍している有名なフローリストであると聞き、研修生として無給で構わないので自分を彼の花店で雇ってもらえないだろうか、とまだ拙かったフランス語で願い出ました。そんな藤田の作る花のセンスを認め、また、その強い思いに打たれたフランシーヌはフランソワと藤田の縁を取り持ってくれたのです。ステージールとしての研修であればOKと言っていると伝えられ、早速フランソワに電話で連絡してみると、とてつもなく早口の彼との会話はままならなかったのですが、なんとか彼の店に挨拶に伺うことになりました。約束の日、文化人やブルジョワの館や大使館、政府機関が周辺を埋め尽くし、国会議事堂や首相官邸も徒歩5分圏内という左岸7区の好立地にあった「Lilianne François pour fleur à fleur」を訪れたその時から、藤田はフランソワの店でスタージュとして研修した最初の日本人となり、師弟関係が始まりました。

1989年末に藤田が帰国して以降、氏を日本に招聘しデモンストレーション、レッスンを開催、逆に大きなフラワーデコレーションの仕事があるとフランソワが藤田をパリに呼んだりする交流を続けながら、師を仰いで日々研鑽を積み、藤田はムッシュ・フランソワからアテスタシオン（Attestation／公証人作成の正式な覚書）を得た上で、日本で「Liliane Francois Japon」を立ち上げることを許されるまでに信頼を得ました。

藤田が日本でフレンチスタイルのフラワーデコレーションを伝え、フランソワの花の世界を日本で紹介するなど、互いに認め合うフローリスト同志として穏やかな師弟関係が現在まで続いています。

「ステイホーム」の風潮が続く中、冬のおうち時間を活かして、日仏を代表するフレンチスタイルの花の表現者二人のコラボレーションによる「クール・ド・フルール・ア・ラ・メゾン アベック・ムッシュ・フランソワ」で、パリの空の下に居るようにエスプリが効いたシックで華やかな花々を日々の暮らしの中に感じてお楽しみください。

###

[参考資料]



デコラトリス 藤田京子

「シンプル＋上質＝洗練」をコンセプトに

豪華さの先にある豊かさ、個々にとつての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案いたします

プロフィール：

食空間プロデューサー木村ふみ氏に師事した後渡仏し、ジョルジュ・フランソワ氏に師事。フランスを代表するフローリスト達から指導を受ける。帰国後、「クール・ド・デコラシオン・フローラル」を主宰。通算7年半のパリ、6年の京都暮らしを通して得た美意識を花を通して表現。2013年、東京・西麻布にフラワーサロンブティック「réfléchir KYOKO FUJITA Nishiazabu」をオープン。2015年10月、首相官邸史上初となる公邸玄関の装花を行う。2015年12月、東京・八重洲に2店舗目となる「réfléchir KYOKO FUJITA Tokyo」をオープン（～2018年12月）。2016年5月には、日本で開催されたG7伊勢志摩サミット2016において来日されたG7各国首脳をお迎えする客室へのウェルカムフラワーおよび首相夫人主催による各国首脳夫人を招いてのディナーでの装花を担当する。2016年8月末、西麻布店を広尾に移し「atelier réfléchir」に改名してオープンし、現在に至る

藤田京子の『re-STYLE』とは レフレシール キョウコフジタが探求する真の豊かさを表現するフラワーデコレーションの最新コンセプト

新しい生活様式を模索する中で、藤田京子の「花の原点」、そして「パリで出会った花の原点」に立ち返る機会を得て生まれたコンセプトです。『re-STYLE』とは、根底に通じる、今も変わらない藤田京子のフレンチフラワーデコレーションの「原点」を守りながら、進化し、深化させ、新化させたスタイル。

1980年台後半から1990年台初頭に培われた藤田京子の「花の原点」の発想を、新しい豊富な花材・素材を用いて今を表現したフラワーデコレーションは驚くほど新鮮な印象です。藤田の「花の原点」が醸成された当時は、花の種類は少なく、輸入された花材も品質は良くありませんでした。そんな中で、パリで暮らし、実際に見て感じたフレンチスタイルのフローラルデコレーションという世界を日本の皆さまに紹介したいという思いで、必死に花と向き合い表現していました。時は経ち、今、古いアルバムや資料を整理する時間の中で、そんな時代に作った、今見ると荒削りな、「若いな」と感じる沢山の作品にあらためて向き合うことが出来ました。同時に、当時を知らない若い世代の人たちにとって、当時の発想はとても新鮮に映る様だという発見がありました。そして、1980年台後半から1990年台初頭に培われた「原点」の発想を元に、今の新しい、豊富な花材・素材で作品を作ってみたらどうだろうというアイデアが生まれたのです。

藤田京子の『re-STYLE』とは レフレシール キョウコフジタが探求する真の豊かさを表現するフラワーデコレーションの最新コンセプト

前ページからの続き：

オートクチュールが健在でファッションが時代を牽引していた頃のパリでは、マダムたちはそれぞれのライフスタイルに合うフロリストを持っていて、その時々テーマに合わせて自在に身の回りを花で飾っていました。辛口ファッションのマダムは大きな色気のある花が好きだったり、はたまた、シナモンのようなピリッとエスプリの効いた花が好きだったり、大人の女性でも可愛いものが大好きだったり、パリのマダム達の嗜好は様々です。そんな個性的なマダムたちの嗜好を汲み、その豊かなライフスタイルに想いを馳せてフローラルデコレーションを作り続けた経験が藤田京子の「花の原点」。そんな時代のパリの空気感を、一つのアレンジメントを通して感じ取っていただきたいという思いは、今も変わらず持ち続けています。

パリでの経験を経て、「本当に豊かな暮らしとは何か？」という問いを、花を通して考え、表現していきたい、という想いで西麻布に初めて店舗をオープンし、「レフレシール＝よく考える」と名づけました。それからさらに時が経ち、今振り返ってみると、原点は大きく変化することなく、その発想を持ち続けてきたことがよく分かります。レフレシール キョウコフジタは、根底に通じる変わらない藤田京子の「原点」の発想を守りながら今のスタイルで表現する『re-STYLE』のフレンチフラワーデコレーションを提案してまいります。

réfléchir KYOKO FUJITA | レフレシール キョウコフジタ

「シンプル＋上質＝洗練」をコンセプトに豪華さの先にある豊かさ、個々にとっての真の豊かさを探求したフラワーデコレーションを提案する藤田京子のアトリエブティックです。

広尾に在る、オーダー中心の制作をしながらサービスブーケの販売、レッスンなどを行うショップとアトリエが共存する「atelier réfléchir | アトリエ レフレシール」では、プレタポルテとオーダーメイドの双方で生花のブーケやアレンジメントをご用意いたします。これらのブーケ・アレンジメントは、混雑した場所でも花を傷つけることなく持ち帰ることができるオリジナルギフトボックス「ラ ボワット ファシル」での誂えもおすすめで。

また、藤田京子が独自で輸入したアーティフィシャルフラワー（1本から購入いただけます）やプリザーブドフラワーのアレンジメントの他、花器や国内外から仕入れた花に纏わる様々な商品を取り揃えています。その他、ギフトにも使えるシャンパーニュやノンアルコールスパークリングと花をセットにしたスタイリッシュなギフトボックス等に加え、ウェディングブーケ・ブーケトニアなどのオーダーメイド対応も承ります。

■レフレシール キョウコフジタ

ホームページ：<http://www.kyokofujita.com/reflechir>
オンラインショップ：<http://reflechir-shop.com/>
Facebook：<https://www.facebook.com/kyokofujita.reflechir/>
Instagram：https://www.instagram.com/reflechir.kyoko_fujita/
プロモーションビデオ：<https://www.youtube.com/channel/UCVdI6z4IzjnAlUDDIbO5vDw>

■atelier réfléchir | アトリエ レフレシール

Address: 東京都港区南麻布 5-2-37 ルランビル 1 階
Tel: 03-3442-8787
Fax: 03-3442-0087
Mail: info@kyokofujita.com
営業時間: 月曜日～金曜日 11:00～18:00 / 土曜日 10:00～18:00
日・祝日 休み（不定休あり）



La Boite Facile | ラ ボワット ファシル



『La Boite Facile（ラ ボワット ファシル）』の「Facile」は、英語の「Easy」と同義語。つまり、『La Boite Facile（ラ ボワット ファシル）』はフランス語で「簡単に使える・やさしい箱」という意味です。今までにない画期的なデザインで花にやさしく、運びやすく、スタイリッシュでエレガントなブーケやフラワーアレンジメントを簡単にお届けできるレフレシール キョウコフジタ オリジナルの新スタイルのギフトフラワーボックスです。ミシン目によってボックスを切り開くと、中からふわりと花

があふれ出す、マジカルでドラマティックな演出を可能とするフラワーボックスは、箱の下部が花器となって直ぐにそのまま花を飾ることができ、レストランや個人宅でのパーティーなどの贈り物に最適です。

■Petite : S 4,000 円～ / M 5,800 円～
■Grande : S 5,800 円～ / M 8,800 円～ 【価格はすべて税別】

###

本件に関する取材・写真素材・お問い合わせ先

担当: R/O | アールオー 大嶋 理絵 MAIL: otoole@kpb.biglobe.ne.jp TEL: 090-4829-1098